

支援対象国

ネパール連邦民主共和国



ネパールは、北は世界最高峰のヒマラヤ山脈から、南はインド国境沿いの平野を有しており、狭い国土の中に急峻な地形が凝縮されています。これらの多様な地形がもろい地質からなることや、ネパールの気候が典型的なモンスーン型であることから、毎年6～9月の雨季には、全国で**洪水や地滑り等の災害が発生**しています。

また、国土全体が地震プレートの境目に位置することから、**地震活動が活発**な地域でもあり、2015年には大地震が発生。今後も全土で新たな地震の発生が危惧されています。山や川の多いネパールでは、災害が発生しても支援が届きにくいのが現状です。**救助に頼らず、住民自らの力で災害に対処できるようになること、また被害を最小限にとどめることが「ネパール・コミュニティ防災事業」の目標**です。



出典: 国連UNHCR協会

これまでのご支援、誠にありがとうございます。
赤十字の活動は、皆さまからのご寄付に支えられています。

年間目標額 4,800万円

皆様のご支援でできること。例えば、

■耐震性住宅建設の参加費

1人あたり9千円

■搜索・レスキュー要員の養成費

1人あたり3千円

平成28年度には、45の自主防災組織に災害時に必要なライフジャケットやロープなどの防災資機材が整備されました。

ご協力方法



郵便局・各金融機関

全国の郵便局、その他取扱いのある金融機関で寄付できます。



インターネット

クレジットカードやPay-easyで寄付できます。

日赤 海外たすけあい

検索



特設サイトへ



窓口

日本赤十字社の各都道府県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK各放送局などから寄付できます。

その他

SoftBank スマートフォンの利用料金の支払いと一緒にできる寄付やファミリーマートにある情報端末「Famiポート」を使つての寄付、Yahoo!基金やAmazonのサイトからも寄付ができます。

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
日本赤十字社 <http://www.jrc.or.jp>
TEL: 03-3437-7089 (国際部 開発協力課)

2018年10月作成

ネパール コミュニティ防災事業



村の抱えるリスクを地面に描いて洗い出す住民
(グルミー郡トックダン村)

地域で自主防災の組織を育てる！

日本赤十字社は、2012年からネパール赤十字社コミュニティ防災事業への支援を開始しました。この事業は、対象となる支援対象地域で、地域住民から成る**自主防災組織を根付かせること**です。自主防災組織とは、災害時に備えて、日ごろから啓発活動や災害初動チームの訓練・管理、リスクを減少させるための小規模工事、災害警報の発令や避難誘導を行う組織で、地域社会の防災の最前線を担っています。日本赤十字社は、自主防災組織が地域防災の要としてコミュニティの防災計画を策定し、将来にわたって地域住民の命と健康、尊厳を守ることができるよう、側面支援を続けています。

防災組織メンバーの育成



自主防災組織の設立



住民による村の問題分析



村の防災計画づくり



衛生啓発



洪水対策



大工研修



水源保養



捜索救助隊の育成



耐震性基礎工事



防災・減災の能力を向上させるには、個々人の防災・減災意識・能力の向上も大切ですが、何よりもまず住民が身なりリスクに気づき、現実的な減災計画に沿って、地域で防災・減災の問題を解決していく仕組みが村のレベルで未来にわたって根付いていくことが大切です。特に、ネパールの地方では外国へ出稼ぎをせざるを得ない家庭での水汲み、育児などによる多忙さや、カースト制度（伝統的な身分制度）の問題で社会のセーフティネットから取り残されてしまう住民が多いという課題があります。

赤十字の地域防災事業では、**住民が自分たちで続けていくことのできる防災・減災の仕組みづくりを支援すること**で、あらゆる災害に直面した時にコミュニティが災害を予期し、対処できるようになることを目標としています。

事業概要

事業名：ネパール・コミュニティ防災事業

期 間：2016年4月～2019年12月

事業地：・グルミー郡 2市3村 14,394人
・チトワン郡 2市5村 19,986人
・ウダヤプール郡 2市3村 16,869人

目 的：**事業対象地域で、災害に対するレジリエンス（地域の強靱性）を向上させる。**

目 標：1) 対象地域とその住民が災害に対処できる
2) 対象地域の衛生状態が改善する
3) 貧困層の雇用機会が増える
4) ネパール赤十字社の能力が向上する

活 動：・各村での自主防災組織の設置と能力強化研修
・コミュニティの脆弱性調査と分析
・村の防災計画の策定と実施
・村レベルでの小規模減災工事
・捜索・レスキュータスクチームの養成
・耐震性住宅の建設技術の普及と大工の養成
・屋外排泄抑止のためのトイレ普及
・女性ボランティアの育成
・安全な水源確保と水源の保養工事
・貧困層への生計手段の提供
・ネパール赤十字社職員の能力強化研修
・赤十字社地方支部社屋のインフラ整備 等

受益者からの声

「今までの防災活動は各家庭で知識もなく気の向くままやっていました。でも**日赤の支援によって私たちは組織的に、地域ぐるみで活動できる**ようになったわ。」



グルミー郡ホスチョール村ジャヌカさん(右)
広島県支部新谷孝明係長(左)